

NPO 法人鹿児島県認知症グループホーム連絡協議会  
(平成 28 年 10 月 24 日) 沖永良部会場

平成 28 年度 人材育成研修 初任者研修

アンケート 集計表 24 名中 14 名提出

第 1 部 身体観察の基礎知識 (古城裕喜氏)

理解できましたか

- |   |              |       |
|---|--------------|-------|
| 1 | よく理解できた      | ( 6 ) |
| 2 | 理解できた        | ( 8 ) |
| 3 | 普通           | ( )   |
| 4 | あまり理解できなかった  | ( )   |
| 5 | まったく理解できなかった | ( )   |

今後役立ちようですか。

- |   |             |       |
|---|-------------|-------|
| 1 | 大変役立つと思う    | ( 7 ) |
| 2 | 役立つと思う      | ( 7 ) |
| 3 | 普通          | ( )   |
| 4 | あまり役立つと思えない | ( )   |
| 5 | 役立つと思えない    | ( )   |

印象に残った内容を教えてください。

- ・転倒事故によるさまざまな対応の仕方
- ・緊急時の対応など、勉強になりました。
- ・コンパクトな教えて、理解しやすかった。
- ・(身体観察・・・全て) 基本的知識は、受けなくてもわかっていると思いもありましたが、再度、学ぶ機会を与えて頂き細々とした部分の抜け落ちているところに気づかされました。
- ・身体観察が 1 番重要なので、古城先生のように分かり易く説明できるように資料を参考にホームで勉強会を持ち取り組んで行こうと思いました。
- ・緊急時の他王やバイタルの正しいやり方・測り方が、印象に残り、実践してやっていきたいです。
- ・体温の測り方・脈拍の測り方
- ・緊急時の対応の仕方やバイタルの正しい測定の仕方
- ・「なんだかいつもと違う」ことに気づくために普段から意識しなければならないことなど、大変勉強になりました。
- ・転倒事故の対応方法やよるある病気の種類が分かり勉強になりました。
- ・体温や血圧の正しい測り方が分かり勉強になりました。
- ・緊急時対応、応急時対応
- ・緊急時の対応
- ・「なんだかいつもと違う」に気づく
- ・急変時対応の手順と心構え
- ・ホームでよくある傷として、表皮剥離がります。応急処置方法を学べてよかったと思います。

## 第2部 認知症の基礎知識（碓山泰幸氏）

理解できましたか

- |   |              |        |
|---|--------------|--------|
| 1 | よく理解できた      | ( 4 )  |
| 2 | 理解できた        | ( 10 ) |
| 3 | 普通           | ( )    |
| 4 | あまり理解できなかった  | ( )    |
| 5 | まったく理解できなかった | ( )    |

今後役立ちようですか

- |   |             |        |
|---|-------------|--------|
| 1 | 大変役立つと思う    | ( 4 )  |
| 2 | 役立つと思う      | ( 10 ) |
| 3 | 普通          | ( )    |
| 4 | あまり役立つと思えない | ( )    |
| 5 | 役立つと思えない    | ( )    |

印象に残った内容を教えてください。

- ・認知症の人による中核症状（BPSD）  
（見守る、目線を合わせ優しい口調で、具体的対応、余裕をもって対応、はっきりした話し方で、声をかける時は一人で、後ろからしゃべらない、声に耳を傾けゆっくりと会話する）
- ・本人の中核症状をよく理解し、本人の情報をしっかりと把握して支援をしていきたい。
- ・BS法が、学べた。
- ・正常に発達した脳細胞が、死ぬ怖さと難病を理解し支える側の知識向上の重要性を改めて感じました。ケアする側が疲れるのはケアされる側は、もっと疲れるとの言葉に胸の痛みを感じました。
- ・中核症状、周辺症状に上手に対応できる人材の大切さ、それには、解り易く指導できる碓山先生の研修の事例を基に受けたいと思いました。
- ・認知症は、脳の変化で起こるということと理解してメッセージや訴えにすぐ気づき、寄り添うこと。
- ・中核症状
- ・私自身、BS法という言葉を知りました。様々な角度から意見を出し合う大切さや認知症にもいろいろな種類があること、チームとして協議し、ケアを解決することの大切さを学びました。
- ・BS法という言葉を知りました。
- ・認知症の病名や中核症状の種類など勉強になりました。
- ・中核症状、周辺症状（BPSD）
- ・具体的な対応の7つのポイント（①まず、見守る ②相手に目線を合わせて優しい口調で ③余裕をもって対応 ④おだやかにはっきりとした話し方で ⑤声をかける時は一人で ⑥後ろから声をかけない ⑦相手の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応する）
- ・認知症の専門的なことは、少し難しかったですが、BS法を用いての討議が、とてもおもしろかった。
- ・認知症の中核症状とBPSD（行動心理状態）が分かる事で、利用者に対する接し方が分かってきました。

### 第3部 退陣援助のケア技術（中津詩穂氏）

理解できましたか

- |   |              |        |
|---|--------------|--------|
| 1 | よく理解できた      | ( 3 )  |
| 2 | 理解できた        | ( 10 ) |
| 3 | 普通           | ( 1 )  |
| 4 | あまり理解できなかった  | ( )    |
| 5 | まったく理解できなかった | ( )    |

今後役立ちようですか

- |   |             |       |         |
|---|-------------|-------|---------|
| 1 | 大変役立つと思う    | ( 5 ) |         |
| 2 | 役立つと思う      | ( 7 ) |         |
| 3 | 普通          | ( 2 ) | 未記入 ( ) |
| 4 | あまり役立つと思えない | ( )   |         |
| 5 | 役立つと思えない    | ( )   |         |

印象に残った内容を教えてください。

- ・知識、技術⇒介護の技術の経験を頼み、物事の目的・根拠を明確にし、身につけ、対応できるようになること。
- ・対人関係⇒認知症の人が何に困っているか、不安に思っているか、傾聴・尊重し、共感し、良好なコミュニケーションをとる。
- ・関係に気づく⇒介護の中で、問題ないか、意識し、問題に、気づき、行動を起こす。
- ・その方に合った声掛け、対応を心掛ける
- ・認知症の行動、心理症状の再確認できた。
- ・対人援助で、一番大切なことは、自分自身の性格、個性、感情、自分自身の価値観、人間性を知る。
- ・他人を理解するには、自分を理解すること又知識も技術も心がともなうことがより良い支援に繋がると改めて感じました。
- ・日常生活だけが援助じゃなくその人に必要なことを手助けを援助してあげること。
- ・自己覚知（2名）
- ・いい対人援助を行う上で、まずは、自分自身を理解することが大切なことを学びました。
- ・例題に出てきた利用者への対応を聞いて、生活歴などを知ることの大切さとそこから導く対処法の難しさを感じました。
- ・他人を理解するために、自分を理解し、自分自身の心と体が一番大切
- ・パーソンセンタードケア
- ・認知症を持つ人を一人の“人”として、尊重し、その人の視点、立場に立って理解してケアを行う。
- ・今、直面している利用者さんに対しての悩みを研修会の参加者に色々聞くことで、自分の悩みも少し軽減した。
- ・人間の欲求（マズローの欲求の階層性理論を知る事で、利用者のかかえている不安をとる事ができます。

その他、意見や感想・要望をお聞かせください。

- ・内容ぎっしりの講習会、たくさん勉強になりました。
- ・講師の皆様が遠く離れた島までお越し下さり学びの機会を与えて頂き、心より感謝しています。これからもこの様な機会をお願いしたいです。
- ・島の介護を必要とする方々が質の高いケアを受ける為には、このような研修だと思います。
- ・離島にも色々な講習会、勉強会があればいいと思う。
- ・島外に出て、研修する機会がないので、島内でこのような研修を受けることができ、本当に良かったです。ありがとうございました。

勤務年数

|      |       |
|------|-------|
| 25年目 | ( 1 ) |
| 22年目 | ( 1 ) |
| 20年目 | ( 1 ) |
| 11年目 | ( 1 ) |
| 10年目 | ( 2 ) |
| 9年目  | ( 1 ) |
| 8年目  | ( 2 ) |
| 6年目  | ( 1 ) |
| 5年目  | ( 3 ) |
| 1年目  | ( 2 ) |

男女別

|    |       |
|----|-------|
| 女性 | ( 9 ) |
| 男性 | ( 4 ) |

職種

|             |       |           |
|-------------|-------|-----------|
| 管理者兼計画作成担当者 | ( 2 ) |           |
| 介護職         | ( 8 ) | 未記入 ( 2 ) |
| 看護師・主任      | ( )   |           |
| 生活相談員兼支援員   | ( 1 ) |           |